

ぶらっとサロン椿通信 令和3年5月増刊号

今号の椿:ピンク・ダリア

アメリカでサルウィンツバキの実生から生まれた品種



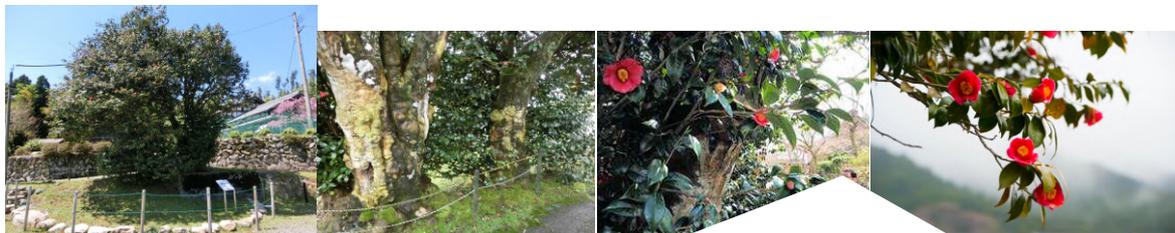
報告:有楽斎

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です。 本年発行よりタイトルに『椿』を加えました(有楽斎)

「白谷の夫婦椿」

滋賀県高島市マキノ町白谷の白谷荘歴史民俗博物館に、ヤブツバキの古木があります。2本の木が寄り添うように並ぶさまから「**白谷の夫婦(めおと)椿**」の名で親しまれています。幹の太さがそれぞれ2・5メートル、1・6メートルもあり、樹齢500~600年と推定されています。

→花の見頃は例年四月中旬です



2019年3月20日 白谷の夫婦ツバキが高島市の天然記念物に指定されました

八重垣神社 (やえがきじんじゃ) 島根県松江市

その縁結びの神は、古事記や日本書紀に登場する八岐大蛇(やまたのおろち)を倒した素戔嗚尊(スサノオノミコト)と生贄にならずにめでたく結ばれた稲田姫命(イナタヒメノミコト)。八重垣神社には、2本の椿が寄り添うように成長し一体となった**夫婦椿(めおとつばき)**が境内3カ所にあり、夫婦の愛の象徴として神聖視されています。

大きなしめ縄が印象的な風格ある拝殿



夫婦椿左より①寄り添うような形 ②石垣の上に植えられている ③根元は2本なのに途中から1本に



①佐久佐女(さくさめ)の森にある別名「子宝椿」②鳥居の向かいにある別名「連理玉椿」③拝殿左にある別名「乙女椿」



八雲立つ 出雲八重垣 妻込めに 八重垣造る その八重垣を

日本最古の和歌と言われています

素戔嗚尊が八岐大蛇を倒し、両親にも認められ稲田姫命をめとする喜びを現した歌だそうです。

こんな歌が現代にまで伝わり、ここが夫婦生活をされた場所として名前が残り、お宮となっていることに偉大な歴史の流れを感じます。

退治した八岐大蛇の尾から取り出されたのが、三種の神器の一つ草薙剣(くさなぎのつるぎ)だと言われています。まさに八重垣神社は日本神話の現場の一つなのだろうと感じます。